

2020 年 11 月 25 日

第 3 報

安房地域医療センター
新型コロナウイルス感染者発生と対応について

【これまでの経緯】

11 月 16 日（月）に当院の整形外科の医師 1 名が新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。発症前、忌引きのため千葉県外の実家に帰省しており、安房地域内での感染ではありません。該当医師は院内感染対策方針に則り、勤務中はマスクを着用し、アルコール手指消毒などの感染拡大防止策を施しておりました。

幸いにも入院並びに外来に濃厚接触者* に該当する患者さまはいらっしゃいませんでした。また、当院職員では 1 人のみ濃厚接触者と判断されました。

【院内対応】

同日（11 月 16 日）ただちに安房保健所に連絡をし、当院新型コロナウイルス感染症対策本部の指示のもと、濃厚接触者の評価、及び必要な環境消毒を行いました。その結果、濃厚接触者と判断された職員 1 名の PCR 検査を施行し、11 月 17 日夕方に陰性であることを確認しました。また、該当の職員は病院の安全管理上、感染者との接触後 14 日間は勤務せず、自宅での健康観察を行いました。**その結果、新型コロナウイルス感染症を疑う症状が出ませんでしたので、通常勤務に戻りました。感染した医師においても無事回復し、人に感染させる危険性もなくなりました。**

【今後の対応】

院内の新型コロナウイルス感染症対策方針に従い、今後も職員の健康管理（症状があった場合の就業禁止を含む）、手指衛生とマスク着用の励行、適切な環境消毒などを通じて、感染症予防に努めます。

当院は地域の中核病院として、みなさまのマスク着用及び手指衛生のご協力のもと、適切な感染対策を行っています。

今後も適宜情報を発信し、地域住民の方に安心して当院をご利用いただけるように努めてまいります。

* 濃厚接触：1 メートル以内で適切な个人防护具を使用せず（1 人でもマスクを着用せず会話するなど）、一定の時間（目安として 15 分以上）の接触があった場合

安房地域医療センター 院長 福内正義